

## 健康投資推進協議会 第5回 HSD ワーキンググループ 議事録

日時：2025年10月10日(金) 10:00～11:00

場所：zoom ミーティング

参加者：(敬称略) 古井、村松、高野、岡部、豊田、佐藤、高木（リコージャパン）、高木（高木工業所）、津川、小山、和田、堀、鈴木、神田

---

### 次第：I. 開会

#### II. 出席者の確認

#### III. 座長挨拶

#### IV. 協議事項

- 1) 2025年度 健康投資推進協議会 方向性・事業について  
地域戦略計画 ー福島県 Well-being フォーラム 進捗報告および

運営について

#### V. 報告依頼事項

- 1) 広報グループからの報告依頼  
HPでのメンバー記載について確認
- 2) 2025年度 健康投資推進協議会スケジュール

---

### I. 開会（豊田）

- フォーラム実現のための具体的な方法、内容のブラッシュアップ、事前に確認すべき点について議論したい。特に福島フォーラムは開催までワーキングで議論できるのが残り2回のため、今回は重要な議論の機会としたい

### III. 座長挨拶（古井）

- 国の健康経営政策は10年を経て、従来の産業保健の枠を超え、経営や社員の働きがいにつながる「健康投資」へと移行している。これは我々の活動の正しさを示すものであり、具体的な取り組みを全国に普及させていきたい。

### IV. 協議事項

#### ★要約

- フォーラムのターゲットを「健康経営を始めたが継続に悩む中小企業」や「経営トップ」と定め、「健康経営はコストではなく投資である」というメッセージを伝える方針で一致。そのために、村松先生の講演で健康経営の意義と実践ツール「ロジックツリー」を紹介し、パネルディスカッションでは「仲間をどう増やすか」をテーマに、登壇者のリアルな体験談を交えて議論を深める構成案が有力となった。

## ★決定事項

- ・ フォーラムのメッセージに、「健康経営を始めたが継続に悩む企業」へのフォローアップという視点を明確に取り入れる。
- ・ フォーラムのコアメッセージとして「健康経営＝投資」という視点を明確に打ち出す。
- ・ 村松の講演は、「①健康経営の意義と中身の重要性 → ②実践ツールとしてのロジックツリー紹介」という構成で実施する。
- ・ 事例発表では、申請の事実だけでなく、具体的な取り組み内容や社内の変化について語ってもらう方向性を確認
- ・ フォーラム終了後、希望者が参加できる懇談会（名刺交換会・相談会）を1時間程度、任意参加の形式で設ける。
- ・ チラシ完成後、豊田より共有する。

## 詳細

- － 豊田より、福島フォーラムの準備状況が共有。フォーラムは11月25日(火)に郡山商工会議所にてハイブリッド形式で開催される。
- － 福島県の後援が決定し、現在も後援団体の追加に向けて調整中。
- － パネルディスカッションの登壇者2名は調整中だが、確定次第、事前打ち合わせを行う予定。
- － 青年会議所関係では、東北地区の地区長や郡山・浪江の理事長・会頭などが当日参加予定で、多くの動員が見込まれる。
- － 来年度の日本青年会議所本部もウェルビーイングに関心が高く、本フォーラムは連携のきっかけとして非常に良いタイミングである。
- － チラシは今月中には完成見込み。完成次第共有するので広報に活用してほしい。
- － フォーラムの副題として、鷲尾氏の思いを一文加える形で進めたい。
- － 高木、岡部：福島支社のメンバーや顧客への声かけを積極的に行い、参加を促したい。
- － 高野：健康経営優良法人の申請企業の多くが「申請だけで終わり、継続に悩んでいる」。本フォーラムは、そうした企業に「継続のためのヒント」を提供する場になるべき。
- － 佐藤（リコージャパン）：経営者の心に「健康経営はコストではなく投資」というメッセージが残るよう、生産性向上などの経営的メリットを明確に伝えるべき。「何から始めればよいか」という問いには「まず現状把握から」と導くのが良い。
- － 村松：事例発表を絞ってディスカッション時間を確保し、「仲間を増やすにはどうすればよいか」をテーマに議論したい。自身の講演パートで「健康経営の意義」と「ロジックツリー」を紹介し、パネルディスカッションに繋げる。
- － 高木（高木工業所）：形式的に申請している企業も多い中、岡部氏のような実践者が「リアルな取り組みと、それによる変化」を語ることに価値がある。
- － 古井：多くの企業が調査票の記入に追われ、本来の目的を見失いがち。事例を通じて「社員が生き生きと働くこと」の重要性を再認識させたい。
- － 岡部：鷲尾さんのような実践者の「仲間」を福島に作るため、フォーラム後に懇談会を開きたい。将来的には「アンバサダー企業」のような仕組みも考えられる。

- 古井 : 講演後の名刺交換会や相談会は非常に有効。協会けんぽの登壇は論点がずれる懸念があるが、福島県庁の施策紹介は有益だろう。
- 村松 : 協会けんぽへの協力依頼の本来の目的は、彼らが持つリストを活用した集客だった。当日の登壇は意図していない。
- 協会けんぽには、当日の登壇は依頼せず、後援として「健康宣言のみで活動が止まっている企業」への集客協力を依頼する。

## V. 報告依頼事項

### 1) 広報グループからの報告依頼

- ・ ホームページのメンバー情報更新と、活動報告ページの充実を報告。
- ・ 2024年度動画ダイジェストの編集検討。
- ・ Youtube アカウントを作成し、導線整備を行う。

### 2) 2025年度 健康投資推進協議会スケジュール

第6回ワーキンググループ 2025年11月14日(金)10:00~11:00

第7回ワーキンググループ 2025年12月12日(金)10:00~11:00

福島 well-being フォーラム 2025年11月25日(火)14:00~15:30

## 総評 (岡部)

- 我々の活動は先進的であり、今後その価値がより明らかになる。11月のフォーラムを成功させ、続く2月のシンポジウムで活動の成果をしっかりと発揮していきたい。